

夕刊文化

イーバーセル社長
北野 譲治

こころの玉手箱



僕は電子物流サービス「電子宅配便」を提供する会社を経営している。国内外で7千社を超える企業が顧客で、業種も幅広い。もともと新卒で大東京火災海上保険（現あいおいニッセイ同和損害保険）の契約社員となり、その後、保険ブローカーを起業した。

20代中頃、ある光景に驚いた。大東京火災に検査に入った大蔵省（現財務省）の若手官僚に東京営業本部長が腰を直角に出掛けて深々とお辞儀をする。世の中の仕組みなど何も知らない当時の僕には奇妙に写った。その光景がずっと頭に残って離れない。政治家の世代を超えた者同士が、肩書をつけて議論できるサロン

をつくりたいと考え始めた。長年の友人で衆院議員の古川元久君を持ちかける。互いの友人を集めて座禅会をやるとういう話になった。古川君と僕は、歴代首相の指南役といわれた四元義隆先生の門下生。先生と関係の深い東京・谷中にある山岡鉄舟ゆかりの寺院「全生庵」で、2005年

山岡鉄舟ゆかりの「全生庵」

肩書超え座禅 心の垢落とす



きたの・じょうじ 1962年岡山県生まれ。86年早大理工学部卒業後、大東京火災海上保険（現あいおいニッセイ同和損害保険）入社。91年保険ブローカーの会社を設立。2000年イーバーセル日本法人に入社。06年に日本法人をクロール本社化し、社長兼最高経営責任者（CEO）に就任。

から月一回の座禅会を始めだ。中曾根さんと平井玄弘先生の横にちよこんと座る少年の写真が残っている。現任職の平井正修さんだ。平井佳職は僕と同世代といふこともあり、長年親しくお付き合いをしている。一度こんなことがあった。全生庵で開かれた著名な経営者がスピーカーの講演会で「皆さん、トイレのスリッパもそろえられないようじゃ、一流経営者の話を聴いても何の意味もありませんよ」と一喝。これにはしびれた。

平井佳職は私心が無く、相手が誰であろうと平の本質をはっきり言う。厳しい修行に耐えて悟りをひらいた僧とはこういうものなのかと膝を打った。

十数年を経た今では座禅会にお誘いする人は300人を超える。平日の夕方から約1時間座禅を組み、様々な立場の者が毎回約20、30人集まる。さて、この1時間で何が得られるのかは分からない。でも、それでいいのだ。静かに自分と向き合い、心の垢を落とし切り、明日に備える。

静かに自分と向き合い、心の垢を落とし切り、明日に備える。全生庵で開かれた著名な経営者がスピーカーの講演会で「皆さん、トイレのスリッパもそろえられないようじゃ、一流経営者の話を聴いても何の意味もありませんよ」と一喝。これにはしびれた。

平井佳職は私心が無く、相手が誰であろうと平の本質をはっきり言う。厳しい修行に耐えて悟りをひらいた僧とはこういうものなのかと膝を打った。

十数年を経た今では座禅会にお誘いする人は300人を超える。平日の夕方から約1時間座禅を組み、様々な立場の者が毎回約20、30人集まる。さて、この1時間で何が得られるのかは分からない。でも、それでいいのだ。静かに自分と向き合い、心の垢を落とし切り、明日に備える。

禅寺に集う仲間には経済人はもとより官僚、政治家、芸術家、主婦、学生まで。世代と業種を超えた付き合いが深く複雑に広がる。